

厚生労働行政推進調査事業費補助金（エイズ対策政策研究事業）  
分担研究報告書  
血液製剤による HIV/HCV 重複感染患者に対する外科治療の標準化に関する研究

研究分担者 播本憲史 国立病院機構九州医療センター肝胆膵外科 科長

研究要旨

当院は九州全体の HIV 診療を総括する九州ブロック拠点病院に選定されており、血液製剤による HIV/HCV 重複感染患者に対する外科治療のガイド作成にむけ、一般外科領域のうち肝胆膵外科に対する外科治療の患者のリストを作成する予定である。十分な倫理配慮の元、倫理委員会への提出を予定している。

共同研究者

武石一樹、野村頼子（所属 九州医療センター 肝胆膵外科）

A. 研究目的

血液製剤による HIV/HCV 重複感染患者に対しての肝移植の際には、基礎疾患である血友病や HIV 感染症の状態が問題となることがあるが、これまで、血液製剤による HIV/HCV 重複感染患者に対する外科治療のガイドラインは存在しない。

なし

B. 研究方法

血液製剤による HIV/HCV 重複感染患者に対する一般外科手術として肝胆膵外科における外科治療をうけた患者を対象とする予定。自験例を中心に、外科手術における術前、術中、術後の周術期管理を検討する。

（倫理面への配慮）

データの収集に際しては、被検者の不利益にならないように万全の対策を立てる。データ解析の際には匿名性を保持し、データ管理に関しても秘匿性を保持する。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

（発表誌名巻号・頁・発行年等も記入）

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

C. 研究結果

まずは倫理申請を行う予定である。

D. 考察

なし

E. 結論